

プロが 企業を変える。

あなたの企業の成長・発展を担う、
プロフェッショナル人材。



内閣府事業

プロフェッショナル人材事業

プロフェッショナル人材採用で 「攻めの経営」へ

「地方創生」の実現には、地域の中堅・中小企業が、潜在的な「力」を発揮していただき、個々の企業の成長を通じて、地域経済を盛り立てていくことが必要です。

このため、内閣府では、地域企業の経営者側の立場に立ち、新たな取組に積極的に挑む「攻めの経営」への転換と、新たな戦略の実現に不可欠となるプロフェッショナル人材の採用を支援するため、各道府県に「プロフェッショナル人材戦略拠点」を整備します。

プロフェッショナル人材戦略マネージャーをはじめとした拠点のスタッフは、地域の関係機関等と連携しつつ、地域企業の経営者の皆様との丁寧な対話を通じて、事業革新や新商品開発などのチャレンジングな取組の一助となるよう活動してまいります。

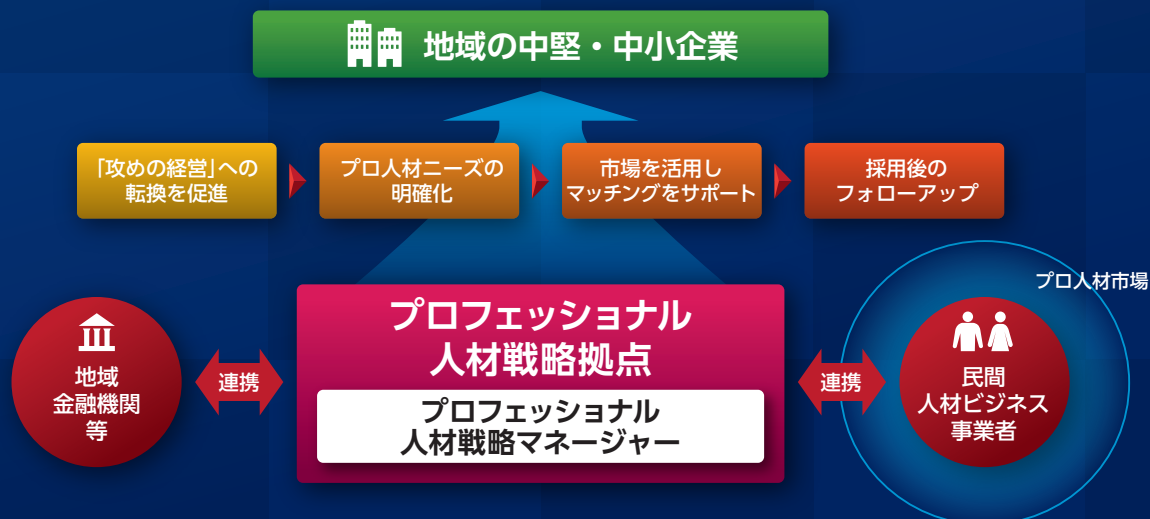
地域企業におかれましては、是非とも、本事業を積極的にご活用いただき、成長の実現に向けた第一歩を踏み出していただければと存じます。



地方創生担当大臣
石破 茂

「プロフェッショナル人材戦略拠点」が
地域の中堅・中小企業を支援します。

- Point 企業が持つ潜在成長力への目覚めを喚起し、「攻めの経営」への転換を促進
- Point 企業の成長戦略実現のために、プロフェッショナル人材のニーズを具体化し、決断を促進
- Point 各種関係機関等と連携し、プロフェッショナル人材のマッチングをサポート
- Point 採用後も経営者、プロフェッショナル人材双方に対してフォローアップを行い、プロフェッショナル人材が地域企業で活躍できるよう支援



FILE NUMBER 01	株式会社ハンズマン	宮崎県	採用したプロフェッショナル人材(A氏)
	会社情報 <ul style="list-style-type: none"> ● 従業員数 1,198名 ● 主な事業 DIYホームセンターの運営 		<ul style="list-style-type: none"> ● 年齢・性別 40代・男性 ● 採用時ポスト 人事部 次長 ● プロ人材タイプ 経営管理人材 ● 仕事内容 本部の中核機能体制強化 採用計画の立案・実行

プロ人材がプロ人材を呼ぶ！ 採用の好循環で「攻めの経営」へ加速する

プロ人材を採用したきっかけ

採用前

更なる店舗拡大に向けプロ人材の必要性を痛感

- 同社は20期連続増収と業績が好調な中、九州地方での更なる店舗拡大や、本州への進出も計画していた。
- そうした出店戦略の実現に向けて、本部の中核機能体制強化が必要不可欠となった。
- とくに総務、経理、人事、商品部など核となる部門で優秀なプロフェッショナル人材をいかに確保するかが喫緊の課題となっていた。

プロ人材採用により得られた効果

採用後

どんなプロ人材を採用？

- 半年で3名のプロ人材を採用。この3名はすべて他県からのUIターン採用である。
- そのうちの1名は、公認会計士の資格を持つ監査法人勤務者で、縁もゆかりもない宮崎に移住するなど、難易度の高い採用に成功している。
- 上記のプロ人材採用を成功させた人事部のA氏もまた、Iターンとして入社したプロ人材である。自動車系商社を経験後、同社に入社。他部署を経験したのち人事部次長に着任。

プロ人材の活躍状況

- A氏は採用を一手に担う人材として、全国を飛び回り採用活動を行っており、今や同社の組織づくりに欠かせない人物となっている。

VOICE 経営者の声

難易度の高いプロ人材の採用に成功したポイントは、人事の担当者が自ら候補者のもとに出向き、直接顔を合わせた点にあります。採用コストをかけてでも、直接会って話すからこそ自社の魅力が伝わったといえます。入社を決めたプロ人材は、人事の担当者と話さず中、「自らのやりたいこと」が実現できる環境や業務内容であることを感じ、転職を決めているようです。

FILE NUMBER

02

大幸薬品株式会社

大阪府

採用したプロフェッショナル人材(B氏)

会社情報

- 従業員数 201名
- 主な事業 一般医薬品の製造及び販売

- 年齢・性別 40歳代・男性
- 採用時ポスト マネージャー
- プロ人材タイプ 新規製品開発人材／事業分野拡張人材
- 仕事内容 中期経営計画の策定
新規事業の計画

新市場の創生で、従来の事業構造を大きく変革 プロ人材とともに空間除菌のワールドリーダーを目指す

プロ人材を採用したきっかけ

採用前

空間除菌の新市場構築のため「攻めの経営」へと舵をきる

- 同社は正露丸で有名な医薬品メーカーであるが、外部環境の変化に対応するためには事業構造の転換が求められていた。
- 事業構造を転換するには、これまで経験したことのない未知の領域に足を踏み入れる必要があるが、社内でそれをリードしていく人材がいなかった。

プロ人材採用により得られた効果

採用後

どんなプロ人材を採用？

- B氏の前職は仏系化学品メーカーの事業部長兼子会社取締役で、国家的プロジェクトのリーダーを務めた経験を持つ。

プロ人材の活躍状況

- 新たに家電分野への製品供給を実現。家電に組込める新製品「クレベリンLED」を用いた家電製品の発売による「二酸化塩素による空間除菌」の新市場の創生を家電メーカー各社とのアライアンスにより実行。
- 入社後わずか1年で大きな成果を生み、部長に抜擢。

VOICE 経営者の声

これまで我々は、対消費者に向けた製品の製造販売ビジネスが主流でしたが、ビジネスの更なる拡大を考えると「クレベリンLED」のように他企業への製品供給、しかも複数社に供給できる製品を開発することが重要な課題となっていました。採用したプロ人材(B氏)は、この新規事業計画を策定しプロジェクトをリードしていきました。その結果、当社から家電メーカーに向けた初めての供給品である「クレベリンLED」を組み込んだ製品が家電メーカーから発売され、今後も様々なメーカーから「クレベリンLED」搭載機器を市場に投入していく計画で、ビジネスの広がりを見せています。「二酸化塩素による空間除菌」世界市場での牽引役(ワールドリーダー)の地位を揺るがないものとする大きな成果です。

FILE NUMBER

03

オオアサ電子株式会社

広島県

採用したプロフェッショナル人材(C氏)

会社情報

- 従業員数 120名
- 主な事業 液晶パネル、各種制御装置、オーディオスピーカー製造等

- 年齢・性別 50歳代・男性
- 採用時ポスト 東京営業担当部長
- プロ人材タイプ 販路拡大を担う人材
- 仕事内容 新商品の広報・マーケティング・営業

逆境をチャンスに変えて！ 背水の陣で挑んだ「下請けからの脱却」と「攻めの経営」への転身

プロ人材を採用したきっかけ

採用前

逆境をチャンスに変えて「攻めの経営」へ挑戦

- もともと大手企業の下請け会社として液晶パネル等を製造してきた同社だが、リーマンショックや不況のあおりを受け、売上の8割を占めていた企業との取引がゼロになってしまった。それを契機として、自社製品の開発・製造に挑戦した。
- 下請け会社として約30年、世界標準の品質に応えつづけてきた甲斐があって、新商品である高級スピーカーの「Egretta(エグレッタ)」開発に成功する。しかし、当時同社には販促活動に秀でた人材がおらず、広報・マーケティング・営業を一手に引き受けられるプロ人材を探していた。

プロ人材採用により得られた効果

採用後

どんなプロ人材を採用？

- 幅広い人脈を持ち、販路開拓の方法を熟知する元大手メーカー勤務のC氏を採用。

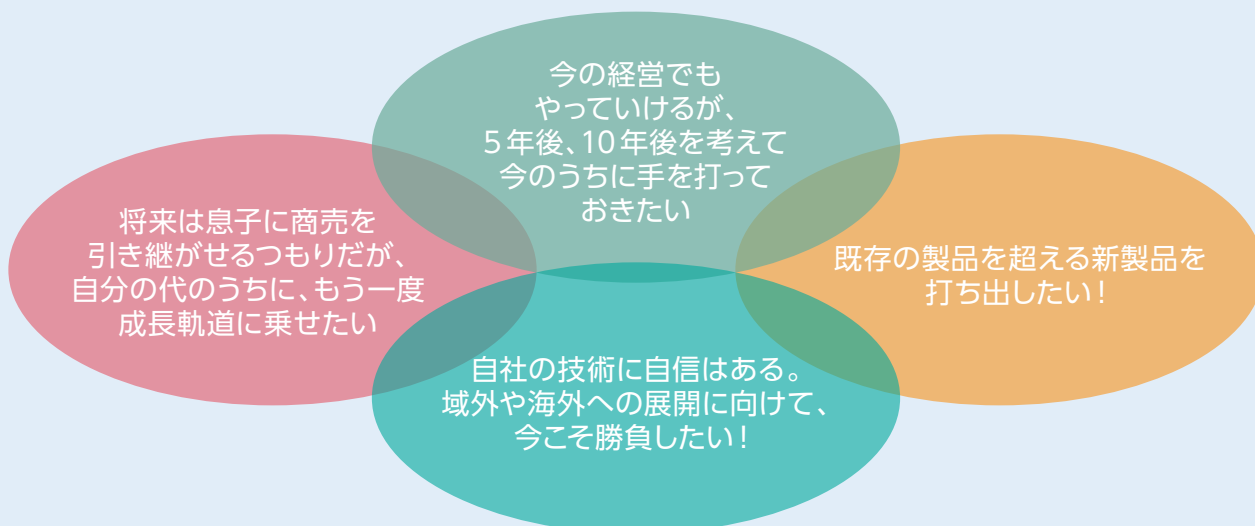
プロ人材の活躍状況

- 「Egretta(エグレッタ)」はグッドデザイン賞を受賞し、高価格でありながらも、広島のショールームに全国からお客様が来場するほど人気を集めている。本製品が全国のお客様の目に触れるまでに至ったのは、他にもなく、C氏の販促戦略の策定・実行及び地道な営業活動があったからである。
- 現在では、全国の大手量販店への導入が決まったり、東京タワー展望台のプロジェクションマッピングに同社の製品が採用されたりと、様々なビジネスチャンスが広がってきている。

VOICE 経営者の声

長年顧客からの信頼に生きてきた技術力があっても、採用したプロ人材の活躍がなければEgretta(エグレッタ)がここまで脚光を浴びることはなかったかもしれません。不況のあおりで一時は工場の操業を停止しなければなりませんでした。同時に200名いた従業員を路頭に迷わせるわけにはいきませんでした。「後には引けない」という強い気持ちで踏み切った下請けからの脱却と、新商品の開発でしたが、プロ人材(C氏)の営業手腕のおかげで、大きなビジネスチャンスにつなげることができました。

経営課題が解決できず、 「攻めの経営」への道を諦めていませんか？



まずは、あなたの地域の
プロフェッショナル人材戦略拠点にご相談ください。

課題解決に必要なプロフェッショナル人材ニーズを踏まえ、
マッチングをサポートします。

プロフェッショナル人材の活用を決めるのは**経営者自身**です。
プロフェッショナル人材を採用し、潜在的な力を呼び覚ますことで、
あなたの会社と地域の経済を次のステージへ！

お問い合わせは最寄りのプロフェッショナル人材戦略拠点まで

〈内容に関するお問い合わせ〉

みずほ情報総研(株)

社会政策コンサルティング部 担当：竹元、後藤、菅原

〒101-8443 東京都千代田区神田錦町2-3 竹橋スクエア8F

TEL：03-5281-5276（月～金曜日、9時半～18時）

FAX：03-5281-5443

E-mail：pro-jinzai@mizuho-ir.co.jp



内閣府事業

プロフェッショナル人材事業

2015年12月18日 第二版